



国際ロータリー会長 李 東建
第2730地区ガバナー 安満 良明

2008～2009年度 国際ロータリーのテーマ **夢をかたちに**

事務局・例会場 鹿児島東急イン 会 長 右田 省二
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F 会長エレクト 松田 泉
TEL 090-5295-2736 幹 事 国師 博久
FAX 099-251-5290 編 集 会報・広報委員会
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/swrc/>

Vol. 13-8

第535回例会 平成20年8月28日(木) プログラム「会員卓話 福石堅郎君」

前回第534回例会[8月21日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】会長 右田省二

安満ガバナー・上原ガバナー補佐、鹿児島サザンウインドロータリークラブへようこそいらっしゃいました。よろしくお申し上げます。本日は安満ガバナー公式訪問例会です。1時45分よりクラブフォーラムを開催しますので、皆様の出席をお願いいたします。テーマは「ロータリーへの想い」です。ロータリーへの想いを語ってほしいと思います。その語らいの中からクラブの方向性が出てくるのではないかなと思います。またタイのケンクーンクラブとの交流の仕方を語り合いたいと思います。今後時間はかかりますが、息の長い交流をしていきたいと考えています。

さらに、環境問題や経済のグローバル化は私たちの茶の間話題にごく自然にあがります。特に食の安心・安全は様々な事件として新聞紙上を賑わせており、これも環境問題や経済のグローバル化に関連するものが多いと思われます。環境問題でもあり、経済問題でもあるCO2の削減も産業界は限界に来ており、最後は我々消費者のCO2削減しかないと言われております。私たちロータリアンも会社や家庭でCO2削減に少しでも寄与していきたいと思っております。手始めに今日ご出席の会員の一部の人は実践しておりますが、マイ箸を持参してきておられます。私たちのクラブではマイ箸を使うことを提案したいと思います。皆さんのご賛同を得られれば昼食の割りばしは全廃したいと思います、忘れてきた方にはクラブから割りばしを提供することにしましょう。効果の程度は知れていますが、私たちの意識改革の一歩にしたいと思います。

【会務報告】幹事 国師博久

① 地区社会奉仕委員長会議 9/20 (土) 13:30～メインホテルナカムラにて行われます。

【ゲスト】第2730地区 安満良明ガバナー

鹿児島市内分区 上原一八ガバナー補佐

鹿児島RC 池田真実ガバナー補佐随員

【ビジター】鹿児島RC 岩本 優君

【R財団目標達成者】7/18 平恵子君 7/24 藤崎克己君

【ニコニコBOX】

◆右田省二君

安満ガバナー・上原ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。歓迎いたします。

◆国師博久君

安満ガバナー・上原ガバナー補佐、ようこそおいでいただきました。今日はよろしくお願ひ致します。

◆川原篤雄君

初盆供養相済みました。「しんぼんこころざし新盆志」としてスマイルさせていただきます。「感謝」

◆池田耕夫君

安満良明ガバナーとは同級で幼少の頃よく遊んだ仲でございます。2度目のガバナーとして本当にご苦勞様です。どうか体だけは気をつけて頑張ってください。本日は宜しくご指導の程お願ひ致します。

《次回(第536回)例会のお知らせ》

日時：H20年9月4日(木)18:30～

場所：東急イン1Fレストラン

プログラム：夜間例会

「地球環境を守るためーそれぞれのエコ対策」



◆岩田政大君

先日のロータリー大学、大勢の参加有難うございました。講師の会長エレクト松田泉さん、地区クラブ奉仕副委員長西さん、感謝いたします。

◆前田正幸君

8月10日のリバティライオンズとの合同ゴルフコンペで当クラブの部で優勝でした。

◆田中応征君

アインシュタインLOVE鹿児島展が14日に開幕しました。開会式にご出席いただきました平さん、池田先生を始めロータリーの方々に感謝いたします。27日まで続きますので、皆様どうぞお越し下さい。

《ニコニコBOX累計額 ¥92,000-》

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2008～2009年度 クラブテーマ **「夢を語り、果たそう未来への責務」**

【プログラム】ガバナーアドレス

第 2730 地区ガバナー 安満良明
今年度の李東建 R I 会長は、ガバナー時代に 32 の新クラブを作られて 1,800 人の増強をされました。



この李会長は本年度のテーマを「夢をかたちに」という言葉で表しました。またロゴについては赤いお母さんと青い赤ちゃんに見えてきます。このテーマの背景には、一年間に世界中で病気や食糧不足、水の問題等で 5 歳以下の子供たちが 3 万人近く亡くなっています。アフリカでは年間 500 万人でサハラ砂漠の南は非常にひどいです。この子供たちは夢を見ることさえ出来ずに死んでいっている。そういう子供たちに少し手を貸してあげれば、夢を見てその夢をかたちに出来るのではないかという意味がこのテーマになります。そのためにはここ何年も続けておりますロータリー財団のプログラム、水の問題、識字率向上の問題、保健の問題、飢餓救済の問題それからポリオの問題、これらのことを根気強く続けていくことが大切であるというふうに言われました。

あるお母さんは子供が大好きな卵を毎日 10 個ほど料理して食べさせていました。ところがその子供が 4 歳にして生理が始まったのです。大人にはそれほど影響しないものが、子供にはじわじわと影響を与えてこのような変化をもたらしているということです。大人は知らず知らずのうちに子供を危険にさらしていることが沢山あります。学校の登下校、いじめ、不登校等色々な問題を抱えております。この「夢をかたちに」というテーマはアフリカとかの遠い国の問題ではなく、私達の足元にもごろごろと転がっている問題であり、私達はそれに目を向けて手を差し伸べていかなくてはならないと思っております。

ロータリーを一言で申しますと、綱領の推進が我々会員の目的です。奉仕の理想を学んで推進するという事です。これを表すのにロータリーの標語というのがあります。その一番目の標語が超我の奉仕という言葉です。我を超える、私を少し我慢して奉仕をするという風に私は考えております。奉仕という意味を考える時、私達日本人は少し重く義務的に考えてしまいがちですが、米国のように家族単位でもっと気楽に参加したほうがこの超我の奉仕の意味がわかるような気が致します。

日本中では色々な事件が起こっています。親が子を殺し、子が親を殺し、また孫がおじいちゃん、おばあちゃんを殺し、理由は自分がむしゃくしゃしたというだけで他人をカッターで切りつけたり、駅のプラットフォームで押してみたり、びっくりするような事件が起こっております。その原因の一つに人と人との繋がり、絆が薄くなったということが言われております。三つ子の魂百までと言われておりますが、いま児童心理学では 5 歳までと言われております。5 歳までの人との付き合い方で人生の 8 割の人格がきまるといわれております。この人と人との絆が薄れてまいりますと、人間の苦しみ悲しみが起こったときに解決が出来なくなります。この解決方法は、近くにいる人で家族であり、友人であり地域の人であるはずですが、そのつなが

りがなくなってきたために、人は苦しみ悲しみのはけ口を見つけることが出来ずに結局は事件になるようなことを起こしてしまっているわけです。

13 年前の 1 月に阪神淡路大震災が起きました。両親が復興で大変なので子供を実家のおじいちゃんおばあちゃんに預けることが始まりました。2 月になると鹿児島にも多くの子供達が預けられました。その中の中学 2 年生の女の子が私の近くの中学校に通い始めました。一週間ぐらいしてその担任の先生が私のところに相談に来られました。それは、その中学生の女の子に阪神淡路大震災という未曾有の体験をしたのだからクラスの皆に話してくださいと頼みましたが、何故私がそんなことを話さないといけないか、と怒ってしまい学校に来なくなってしまいました。一週間ほどその子の家に行きましたが顔も合わせてくれず、思い余って相談に来たとのことでした。私は先生にその子の地震の時の状況を知っていますかと聞くと、知っていますと言ったので教えてもらいました。その子は両親と弟を失っておりました。そこで私は先生に大失敗をしましたねと言いました。この子だけでなく皆、両親と弟を失った者の悲しみは絶対誰にもわかるはずがありません。その子はきっとそのことについて、触れられたくもないし誰にも話したくないと思いい、心を閉ざしているはずですが、先生の言ったことはその子の心を無理やりこじ開けようとし、土足で入り込もうとしている意味を持っているんですよと言いました。先生がどうすればよいでしょうかと聞かれたので、どうしようもないですね、ただできるのは今までどおり謝り続けるしかないですよ、と言いました。

先生はそれから毎日放課後にその子の家に通い始めましたが、生徒は顔を合わせてくれず、おじいちゃんおばあちゃんが申し訳なさそうに顔を出さずでした。4 月の終りにおじいちゃんおばあちゃんが抱えるようにして無理やりその子を玄関の前に連れてきました。先生は玄関で土下座して、私が悪かった、地震のことはもう言わないから学校に来てほしい、と謝りました。5 月の連休明けにやっとその子が学校に来てくれました。クラスの生徒は優しくその子を迎え入れ、遅れた勉強を取り戻すためみんなで教えました。1 学期が終わる頃に神戸にいるおじいさんのところが落ち着いてきたので帰ることになりました。1 学期の終業式その女の子は皆にお別れを言うことになりました。壇上でその女の子は、地震の模様を一から話しました。その子は全部話したということで少しは楽になって神戸へ帰っていったと思います。特別なことかも知れません。

私達人間にとって必ず苦しみが起こりますが、それを和らげるのはやはり近くにいる家族、友達のほすです。それが失われることで様々な事件が起こっていると言わなければなりません。そういう人を見つけ、そういう子供たちや青年が夢を持ち、夢を実現できるように手を差し伸べるというのが今年のロータリーのテーマです。皆様方も今迄色々な奉仕を続けておられます。その奉仕を続けながらも一度そういった子供達に目を向け、何か手を差し伸べることがないか考えて奉仕の理想を推進していただきたいと思ひます。

【クラブフォーラム】(13:45~15:15)

点鐘、開会の辞(松田泉会長エレクト)の後、安満良明ガバナーより挨拶。右田会長を議長に、まず入会3年未満の会員よりロータリーに入会しての率直な感想等を発表。その後川原地域・国際奉仕委員長よりタイ・ケンクーンRCとの友好関係をどのようにすすめていくかについて、当クラブの歴史と経緯を含めて提言。安満良明ガバナー、上原一八ガバナー補佐の講評を頂き、閉会。



「私の好きな事」庄司教克

趣味と言えるかどうかわかりませんが、音楽鑑賞でしょうか?特に吹奏楽が好きです。吹奏楽との出会いは、高校入学時に先輩達が演奏した吹奏楽の迫りに惹きつけられて、剣道部に入部するつもりだったのですが、衝動的に吹奏楽部に入部してしまいました。でも、この3年間は学業も忘れず吹奏楽にのめり込んだ充実した時期でもありました。それが、いまだに忘れられないのかも知れません。実に楽しい3年間でした。甲子園での野球応援・送別会等の学校行事をはじめ、公共施設の落成式等、県教育委員会からの依頼、市の行事(おはら祭り等のパレード)、そしてコンクール、九州大会、定期演奏会・・・とあわただしかったのですが、皆と仕上げた曲を大勢の人たちに聞いてもらう喜びがありました。なんと、串木野市民歌行進曲はレコードにもなったんですよ。堂々とした迫力ある行進曲は自分自身も元気になれるし、ラテン系曲は身体も勝手に動き出し、静かな落ち着いたフィナーレの迫力のクラシックも感動もんです。中でも、「未成交響曲」「新世界より」「フィンランディア」が好きな曲です。この頃は、ティンパニーをしていてソロも多かったというのがありますが・・・。今は、なかなか吹奏楽を聴くチャンスもないので、たまに「みやまコンセル」に行ったり、家で有線放送をチェックしながら聞いています。9/14(日)のマーチングフェスティバルを楽しみにしています。(下写真:高校時代)



出席報告	会員数	出席数	出席率%
第534回8月21日(木)	51	36	70.59
第532回7月31日(木)訂正	52(51)	45	88.24

市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更			
月日曜	RC	プログラム	例会場
8月29日(金)	鹿児島RC	ガバナー公式訪問	山形屋
9月1日(月)	中央RC	会員卓話 逆瀬川尚文君・森川勝利君「新入会員自己紹介」	山形屋
9月2日(火)	東南RC	新世代フォーラム ローターアクト活動費授与	サロイヤルホテル
9月2日(火)	城西RC	クラブフォーラム(新世代委員会)	東急イン
9月3日(水)	南RC	ゲスト卓話 鹿児島大学農学部生物資源科学科 焼酎学講座教授 鮫島吉廣氏	サロイヤルホテル
9月3日(水)	西RC	★PBC・RAC・IAC・RC合同例会 18:30~	山形屋
9月3日(水)	西南RC	新世代・インターアクトについて	ゆうづき
9月4日(木)	東RC	クラブ奉仕フォーラム(新世代委員会)	山形屋
9月4日(木)	北RC	クラブフォーラム(新世代委員会)	東急ホテル